

えがおいっぱい

川崎市立上丸子小学校
令和2年8月31日
第1学年 第10号

夏休みが明けて2週間。1年生の子どもたちは徐々に学校生活のリズムを取り戻し、様々な活動に意欲的に取り組んでいます。このような状況下で、できることが限られていますが、できることに精いっぱい取り組む姿が見られます。夏休み明けから、週に数回の下校時に、清掃を行いました。とはいえ、今のところ、ほうきで掃くのは担任。みんなは自分の机と椅子を移動する役目だけです。ですが、清掃のすすめ方をしっかりと理解し、楽しみに机と椅子を運んでいました。「ほうきで掃きたい。」という思いを表す子どもたくさんいます。子どもたちの思いを実現できるよう、らせていきたいと考えています。

☆今月の集金です☆

- 給食費 4,600円
- OPTA会費 350円
- 教材費 267円
- 合計 5,217円

引き落としは7日(月)です。

残高のご確認をお願いします。

7日に引き落とせなかった場合は、15日(火)の引き落としになります。

☆鍵盤ハーモニカについて☆

鍵盤ハーモニカを学校で購入された分については、本日、一度お家に持ち帰るよう、お子さんにお渡ししました。記名をお願いいたします。

年間のカリキュラムを再編成する中で、単元の入れ替えを行っております。鍵盤ハーモニカを使う学習をする時期は、事前にお伝えいたしますので、それまではご家庭での保管をお願いいたします。

☆お願い☆

○学習ノートの書き方が、どんどんじょうずになっている子どもたちです。今使っているノートがなくなりそうになったら、国語10マス、算数12マスのものをご用意ください。

○図工で「かみざらコロコロ」(教科書P50・51)の学習をする予定です。紙皿・紙コップ・空き箱・木工用接着剤・飾り用の色紙等をご準備ください。

《9月の学習予定》

国語	おおきなかぶ すきなもの、なあに おむすびころりん としょかんとなかよし こんなことがあったよ こえにだしてよもう
算数	のこりはいくつ どれだけおおい 10よりおおきいかず
生活	いきものとなかよし きれいにさいてね がっこうだいすき
音楽	がっきとなかよくなろう にほんのうたにしたしもう
図工	みてみてあのね かみざらコロコロ
体育	ボール投げゲーム 表現遊び・リズム遊び
道徳	あしたはえんそく やめなさいよ 二わのことり
学活	生えてくる歯を大切に あいさつ大作戦

9月の行事予定

今月の生活目標：すすんで仕事をしよう

日	月	火	水	木	金	土
		1 ⑤	2 ⑤ テレビ朝会	3 ⑤	4 ⑤	5
6	7 ④	8 ⑤	9 ⑤	10 ⑤	11 ⑤ たてわり活動	12
13	14 ④	15 ⑤	16 ④ 13時15分 頃下校	17 ⑤ 教育相談日	18 ⑤ 尿検査提出 (一次)	19
20	21 敬老の日	22 秋分の日	23 ⑤ テレビ集会	24 ⑤	25 ④	26 第2回学校 運営協議会
27	28 ④	29 ⑤	30 ⑤ テレビ朝会	10/1⑤	10/2 ⑤	

○の数字は授業時数を表しています。

問われていることの意味を理解し、思考力・判断力・表現力を高める算数の学び

算数では、各クラス「のこりはいくつ」（ひき算の単元）の終末にさしかかってきました。

当初はたし算をしてしまったり、「ひき算って?」と、首をひねったりしていた子も、学習を積み重ねていくうちに、正確に計算ができるようになり、問題文に対してしっかりと立式できるようになりました。

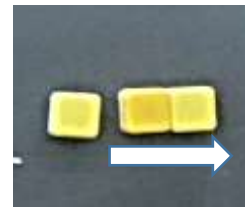
どの教科等の学習でもいえることですが、特に算数は、「既習を生かす」とよく言うように、身に付けてきたことをもとにして、新たな学習内容を理解することができる、系統性の高い教科です。ただ計算できる、ただ式を立てられるだけでと、系統性はあるが未知の問題に出会った時に、これまでの学びを活用できないかもしれません。ですので、授業の中で、どうしてその式になるのか、どうしてその答えになるのか考え、意味をとらえられるように、繰り返し学べるようにしています。言い換えると、「自身で活用可能な知識・技能」が身につくように、「思考力・判断力・表現力」を高められるようにしています。そのために、必要なことはなんでしょう。

学習指導要領の算数編「第1学年の目標及び内容」の中に、以下のような文言があります。

『数と計算』では、ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力を養う。数のまとまりや数量の関係に着目して、ブロックや数え棒といった具体物や図などを使って数の数え方や計算の仕方を考えたり、その過程を表現したりすることを重視する（以下略）

つまり、1年生の段階で必要なことは、具体物を操作しながら考えるということになります。

「のこりはいくつ」の単元でも、主にブロックでの操作を通して、ひき算の意味を理解できるようになります。右写真は、「つばめがはじめに3羽います。2羽飛び立つと、のこりは何羽でしょうか。」という問題に対して、ある子が黒板で「2羽飛び立つ」をブロックで表した後のものです。これによって、「3から2をとる」という意味を獲得していくことになります。



具体的な操作とともに大切なことは、具体的なものを次第に抽象化していくことです。上の問題でいうと、具体的なものといえば、「つばめ」になります。しかし、本物のつばめを授業の中で扱うことは難しいです。ですので、「つばめ」をブロックに置き換えて考えました。この時点で、「抽象度を上げた」ということが言えます。ブロックは「半具体物」という言い方もあります。式は、問題場面を表すときの、もっとも抽象化されたものといえます。

ブロックで操作した後に、そのブロックの動きを図で表してみることで、さらに抽象化されたものになります。左写真は、上の問題場面をブロック操作した後に、ある子が表した図です。○によってつばめの数を、→によって飛んでいくつばめの動きを表しています。このような活動を通して、残りの数を求める「 $3 - 2 = 1$ 」という式の意味を理解できるのです。

高学年になると、より複雑な問題場面を解決していくことになります。その時に、具体的な場面がある程度抽象化した図や数直線などを駆使することが必要になります。そのように先を見据えながら、1年生のこの段階から、具体的な操作をしながら、図や式に表していくことができるように、学習をすすめていきたいと考えています。

各クラスの様子

1組

席替えや授業を進める中で、また一段と友達関係が広がってきたようです。楽しそうに中休みに話をしたり遊んだり、ペアやグループ活動で自分の考えを積極的に話したりする姿が多く見られるようになりました。反面、楽しみすぎて時間を守らないなど、注意を受ける場面も出てきました。しっかりけじめをつけながら、引き続き、交友関係を広げていってほしいと思っています。

2組

クラスみんなで過ごすことになって、約3か月。いろいろな子と関わるできるようになってきました。朝の会の「みんなにお知らせ」の時間に、積極的に自分のことを話す子、興味をもって友達の話聞く子の姿が見られます。お知らせに対して質問をしてもよいことになりました。「買った本を読み尽くした。」というある子のお知らせに対して、「どんな本?」「1面白かったところは?」という質問が出ました。そのような質問に答えることによって、話題に深まりが出てきました。伝え合いを通して、互いの理解につなげてほしいと願っています。

3組 夏休みの出来事を発表する活動や朝の会での日直のスピーチ活動、自分の好きなことやものを発表する活動など、教室の前に出てきてクラスみんなに向けて話をする活動を多く行っています。その中で、多くの子どもたちが6月に比べて堂々と大きな声で発表できるようになってきています。また先週からは、発表した友達に質問をして話を広げることに取り組んでいます。「しっかり発表を聞いておかないと質問できないね」という意見が子どもたちの中から出て、みんなうなずいていました。話を聞くことの大切さを実感できた場面でした。

4組 8月の生活目標の挨拶について、学級で取り組むめあてを話し合いました。自分たちにできていないことは何か、何のために挨拶をするかなどを考え、活発な話し合いができました。その中で、「クラスの友達にもっと挨拶をして、友達を増やしたい」という意見に賛成が多く、学級で取り組みました。「おはよう」「さようなら」だけでなく、「いってきます」「いってらっしゃい」の声も教室に響き、暖かい雰囲気の中で友達と接することが増えています。国語の音読劇の練習や、生活科の水遊びなど、友達と協力して楽しく活動する様子もたくさん見られました。また、給食の片付けでは、全員が牛乳パックをきれいにたためるようになっただけでなく、写真のように向きを揃えて丁寧に返却し、自分たちで考えて気持ち良く生活しようとする姿がとても素敵な4組です。



5組 夏休み明けには、楽しかったことを一人一人話す活動をしました。友達の話聞く中で、「ほくも」「わたしも」と話が広がっていきました。その後話したことを短い文章にしたり、図工で絵に表したり、いろいろな形で表現を重ねました。この2週間で5組の子どもたちが特にがんばったことは、「おおきなかぶ」の劇作りです。友達と距離をできるだけとりながら話し合いや練習をしました。途中で会話のせりふを入れたり、オリジナルの登場人物がでてきたりと、子どもたちの工夫のある素敵な劇に仕上がりました。子どもたちの学校での姿を、気兼ねなく保護者の皆様に参観していただける日が来ることを祈るばかりです。